

# Perifit

FOR EXTENSION OF BORDERS AND FUNCTIONAL IMPRESSION LININGS OF DENTURE BASE

## Question & Answer

簡単に床辺縁延長・封鎖のできる動的リライニング材 PAT.

### 特長について

#### Q1: “ペリフィット”とは

A: はじめティッシュコンディショナーとして作用し、翌日から硬化が始まる動的機能リライニング材(PAT.)です。下記のこと本材一つで簡単にできます。

1) 床辺縁の延長・封鎖ができる。

本材は粉液比を変えるだけで、床の辺縁に盛り上げて垂れず、床の辺縁の形態が粘土のようにあらかじめ手指で自由に形づくれば、床辺縁の延長・封鎖が簡単にできるようになりました。

2) 動的リライニングができる。

さらに、液の量を増やすだけで流動性のあるサラサラの混和物となりますので、床の粘膜面がぶ厚くならないで、薄く一層リライニング(ウォッシュ)することができます。

#### Q2: 床の辺縁延長の意義は

A: 総義歯は唾液を介して、ゴム製の吸盤のように床粘膜内面が陰圧となり、歯ぐきに吸着しています。ところが歯ぐきがやせて、義歯とのすき間が大きくなると、封鎖がやぶれて義歯の吸着が悪くなり、すぐに外れてきます。そこで陰圧を保つために床辺縁の封鎖性を高める必要があるわけです。特に下顎総義歯などでは、極端に短い義歯はこの封鎖性が有効にとれません。

#### Q3: 従来のリライニング材では、床辺縁の延長や封鎖ができないのでしょうか

A: 通常のリライニング材では、粉液比を変えても流動性が良すぎて床縁からあふれ出てしまい、辺縁封鎖に必要な適度の厚み(コルベン形態)をもった床の辺縁形成ができません。逆に、辺縁の厚みをもたそうとすると、十分な操作時間がとれなかったり、流動性が悪くなり、義歯床自体がぶ厚くなってしまい違和感が強くなるという欠点があります。

#### Q4:動的リライニング材とは

A:はじめはティッシュコンディショナーとしての働きがあり、一定期間が経過し動的機能印象がとれた頃に、自発的に硬化を開始するリライニング材のことです。

歯肉の厚みは部位によって一定ではないため、床全体が均一には粘膜に沈下いたしません。そのため咬合時、床が沈下して、先に歯槽骨にあたる個所が靴づれのように痛み、潰瘍となってきます。

それを防ぐために数日間義歯を装着し、機能時に沈下した生理的な粘膜の印象をとって、それがそのままリライニング材に変化するのが動的リライニング材です。

痛みや違和感が少なく義歯に慣れやすいなど、患者様にとても優しいリライニング材です。

#### Q5:本材は、動的リライニング材”DIL”、”ダイナミックライナー”、”Fdr-PERI”とはどう違うのでしょうか。

A:大きく異なるのは、下記の通り、硬化を開始する時期の違いです。

[硬化開始時期の比較]

超短期(約一日)…本材“ペリフィット”

短期(約一週間)…DIL

中期(約二週間)…ダイナミックライナー

長期(約一ヶ月かけて)…Fdr-PERI(光重合しない場合)

※硬化開始時期が早いほど、軟質の期間が短くて表面荒れが防げるので、耐久性の向上が図られます。

※症例に応じて、他の動的リライニング材と併用することにより、部位による軟質期間の調整が可能となります。  
使い方の例として“ペリフィット”で床の辺縁延長・封鎖を行い、床の粘膜面のみ“DIL”で一層リライニングすることも可能です。

### 物性について

#### Q6:装着直後はどの程度の軟らかさでしょうか

A:装着当初はティッシュコンディショナー並みの軟らかさです。

#### Q7:硬化を開始する時期と最終的な硬さは

A:装着日より1～2日後から硬化が始まります。(Q5参照)

約2週間でリライニング表面に爪が立たない程度にまで硬化し、その後も数週間をかけて徐々に硬化が進みます。最終的には常温重合レジンよりも少し軟らかい程度まで硬くなります。

但し、床の辺縁部などは、床の中心部分(口蓋部)よりも硬化が遅くなります。

逆に、アフターや骨隆起部など一時的に緩衝したい部位は、該当する床内面を多目に削除(裏装材の厚みが2mm程度以上)することによって、軟らか感が比較的長く続きます。

### 操作性について

#### Q8:リライニング時、義歯床への接着材は

A:付属の表面滑沢材“ニュートップコート”は接着材も兼ねておりますので、義歯床粘膜面と床辺縁の新生面に必ず塗布するようにしてください。

但し、リライニング直後のリライニング材追加修正の場合は、接着材を塗布する必要はなく、そのまま本材を追加することができます。

#### Q9:形態修正や研磨は

A:軟らかくて研磨ができませんので、ティッシュコンディショナーの形態修正に準じて、デザインナイフかハサミで修正を行い、修正後はリライニング面全体に表面滑沢材“ニュートップコート”を数回重ね塗りしてツヤを出します。

## Q10:表面滑沢材の使い方は

A:表面に塗布することにより、ツヤ出し、表面保護、耐久性向上などの効果が得られます。

表面滑沢材“ニュートップコート”の使い方は、リライニング面を充分乾燥させてから塗布してください。

塗布しない場合は、耐久性が劣ります。

なお、塗布直後はやや刺激がありますので、エアなどで充分乾燥させた後、よく水洗して装着するようにしてください。

## Q11:シリンジ操作時間の調整について

A:粉液混合物の床辺縁への盛り上げ操作時間は、環境温度の影響を強く受けます。

特に、ゲル化が速すぎてシリンジ操作がしづらい場合は、①液量をやや多めにしてください。

室温23℃の場合、混和開始より約30秒後に盛り上げを開始し、1分前後で盛り上げを完了してください。

このとき一度に盛り上げますと垂れてきますので、床辺縁を往復するように繰り返して少しずつ盛り上げます。

また、②シリンジ操作時間は、専用液を冷蔵庫で保管し、冷たい(5~8℃)うちに使用することによって、通常(液温25℃)の1.5~2倍の70~90秒に延長できます。

## Q12:シリンジ内のレジン余剰分は

A:シリンジは何回でも繰り返し使用することができます。

使用后、シリンジ内のレジン余剰分は最後まで出し切ってから、軟らかいうちに付属の押し出し棒でシリンジ先端より突いて取り出します。

## お手入れ方法について

### Q13:面荒れの原因は

A:“ペリフィット”のような動的リライニング材では、面荒れの主要な原因としてデンチャープラークが発生しやすいことに加え、下記のようなことが挙げられます。

[面荒れの原因]

#### 1) 付属の表面滑沢材“ニュートップコート”を使用していない

表面の微小気泡をコーティング材でつぶすことによって表面を滑沢にし、プラークの付着を予防しますので、必ず表面滑沢材“ニュートップコート”を塗布してください。

塗布直後はやや刺激がありますので、エアなどで乾燥させた後、充分水洗してください。

#### 2) 一般の市販義歯洗浄剤による劣化

装着直後の軟質の期間(一両日)中は、一般の市販義歯洗浄剤を使用すると材質が劣化しますので、絶対に使用しないように患者さんにご指導ください。

理由としては、市販義歯洗浄剤に含まれる漂白剤や発泡剤が、多数の気泡をレジン内に発生させて表面荒れの原因となるからです。(義歯の洗浄方法はQ15参照)

#### 3) 水洗いのみによる劣化

表面に付着したバイオフィルムは、水洗いのみでは除去できず、長期にわたるとそれが石灰化して面荒れと表面の硬化につながります。

#### 4) 煮沸による劣化

気泡がレジン表面に発生しますので、煮沸は絶対に行なわないでください。

### Q14:リライニング表面の白濁について

A:表面に唾液や水分を含んだ状態で“ニュートップコート”を塗布しますと、剥離して白濁現象をおこすことがあります。リライニング表面の白濁は、義歯装着による加圧によって経時的に消失しますが、この白濁現象を避けるため、裏装後水洗し、エア又はドライヤーの冷風などで表面を充分乾燥させてから“ニュートップコート”を塗布するようにしてください。

## Q15:リライニング後の義歯の洗浄方法は

A:硬化を開始しても、徐々に進むため比較的軟らかい期間が長く、デンチャープラークが付着しやすくなります。従ってリライニング義歯は以下のとおり洗浄するようにご指導ください。

- 1)リライニング当日は、システムのような極細軟毛歯ブラシで義歯を軽く水洗いしてください。  
なお、ドライマウスなど特に汚れやすい口腔内環境の場合、デンチャープラークが発生しやすいので、軟質期間中(2~3日間)は軟質レジン専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”(亀水化学)をご使用ください。
- 2)リライニング翌日からは、市販品では義歯洗浄剤“酵素入りポリデント”(アース製薬)のみが使用できるようになります。毎日洗浄することをお勧めいたします。  
但し、同じ“ポリデント”でも、ヤニ取り漂白効果の高い“スモーカーズポリデント”、“部分入れ歯用ポリデント”等や、他社製の一般市販義歯洗浄剤は本材を劣化(気泡発生)させますので、使用しないように患者さんにご指導ください。
- 3)タバコのヤニなどの頑固な着色の場合、医院専用の漂白用義歯洗浄剤“デントクリーン”(亀水化学)を用いると、5~10分の超音波洗浄で見違えるほど綺麗になります。

## Q16:リライニング面の気泡発生について

A:装着当日はリライニング材が軟らかいため、市販の義歯洗浄剤によって内部に気泡を発生することがあります。装着当日は水洗のみとし、翌日以降は“酵素入りポリデント”で洗浄するようにしてください。

## その他

### Q17:ノンクラスプデンチャーに使えますか

A:ポリカーボネート床の場合は、通常どおり“ニュートップコート”を接着材として使用し、リライニングできますが、その他の材質のノンクラスプデンチャーでは本材の適用外となります。

### Q18:金属床に使えますか

A:“ペリフィット”は金属床には接着いたしません。

どうしても使用する方法として、金属用の接着材(例 メタファーストのボンディングライナーなど)を塗布し、即重レジンで金属表面を一層コーティングした上に、“ニュートップコート”を塗布し、本材を盛り上げるようにしてください。

### Q19:色調は

A:ピンクとライブピンク(繊維入り)の2種類です。

### Q20:使用回数は

A:容量は粉70g、液50mLで、上下顎総義歯でおよそ8組、合計16床分に相当します。

### Q21:保険請求は

A:義歯床の裏装です。

### Q22:製品の保管方法は

A:できるだけ冷蔵庫か、冷暗所に保管してください。

液は揮発性ですので、使用後はビンのキャップをしっかりと閉めるようにしてください。

